



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 エフピコ

コード番号 7947 URL <http://www.fpco.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 守正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務本部本部長

(氏名) 瀧崎 俊男

TEL 084-953-1145

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

平成23年11月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	76,882	16.2	6,587	△0.5	6,917	1.3	3,781	△5.5
23年3月期第2四半期	66,151	5.0	6,621	13.3	6,829	13.6	4,003	15.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 3,824百万円 (2.1%) 23年3月期第2四半期 3,746百万円 (1.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	182.72	—
23年3月期第2四半期	191.95	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	159,492	67,057	42.0	3,238.23
23年3月期	155,738	64,440	41.4	3,111.61

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 67,025百万円 23年3月期 64,404百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	58.00	—	58.00	116.00
24年3月期	—	58.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	58.00	116.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	13.7	14,494	11.0	14,900	10.7	8,600	8.0	415.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	22,142,106 株	23年3月期	22,142,106 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,443,917 株	23年3月期	1,443,850 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	20,698,230 株	23年3月期2Q	20,858,770 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災後のサプライチェーンの急速な復旧や、一部復興需要の兆しが見られるなど、弱いながらも景気は持ち直しの動きがでております。一方、欧米の金融不安や経済成長の鈍化、円高の進行、さらには中国をはじめとする新興経済国の変調もあり、内外共に景気の先行きは不透明感が増しつつあり、景況感は足踏みの状況になっております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、販売面におきましては、汎用製品及び軽量化製品の拡販に加え、新デザイン製品や新機能製品の採用も好調で、東日本大震災の影響による消費の落ち込みや、製品値上げに伴い不採算取引の見直しを行うなど、マイナス要因はありましたが、製品売上数量は前年同期比105.6%と伸長しました。

製品売上高は、販売数量が大きく伸びたことに加えて、製品値上げの効果が出始めたこと、平成22年12月に鶏卵パックや農産物向け容器の製造販売をするダイヤフーズ㈱の連結グループ化などから、前年同期比108.5%と順調に推移しました。

商品売上高は、平成22年10月に包装資材問屋のインターパック㈱が連結グループに加わり、商品取扱量の拡大に努め、前年同期比143.0%となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は768億82百万円、前年同期に比べ107億31百万円の増収（前年同期比116.2%）となり、第2四半期連結累計期間としては過去最高の売上高となりました。

利益面におきましては、前期第4四半期連結会計期間から当社製品の原材料価格は次第に高騰を続け、原材料コストは前年同期に比べ約19億円の増加となり、その他経費等の増加約7億60百万円がありました。

一方、製品売上数量の増加及び新製品の販売が好調なことや商品取扱量の増加、生産及び物流をはじめとしたグループ全体でのコスト改善に加え、当第2四半期からお客様にご協力をいただいた製品値上げにより、これら利益改善額は総額27億50百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益は69億17百万円（前年同期比101.3%）となり、第2四半期連結累計期間としては過去最高の経常利益となりました。なお、特別損失には、東日本大震災に関わる費用1億89百万円及び電力制限対策費（自家発電機移設費用）51百万円、合計2億41百万円を計上したため、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は37億81百万円（前年同期比94.5%）となりました。

また、平成23年5月より中部第2配送センターとアイ・ロジック中部ピッキングセンターが稼働し、中部地区のお客様に対する物流品質及びサービスレベルの更なる向上を図るとともに、流通コスト削減の提案を推し進めており、8月には、地場大手ユーザーへ新規に食品用包装資材の納入を開始しました。

平成23年5月16日には、平成22年12月に中部リサイクル工場において稼働したPETメカニカルリサイクルプラントで生産された再生PETフレークを食品容器用途に使用することについて、米国食品医薬品局（FDA）よりNo Objection Letter（NOL）を取得し、PET樹脂においても、再商品化製品の上市に向けて準備をすすめております。来春には、中部リサイクル工場にてPETメカニカルリサイクルプラントの2号機が稼働の予定です。

さらには、PET二軸延伸製品（耐熱性向上と強度アップを実現したPET透明容器では世界初となる二軸延伸シートからの成型品）の生産と、商品取扱量拡大のためのアイ・ロジック関東ピッキングセンターの拡充を目的としたピッキングセンターを併設した関東新工場（来春稼働予定）の建設に着手いたしました。

東日本大震災による被災により稼働を停止しておりました東北工場は、生産を山形工場に完全に移管し、今後の東北地区の復興需要に備えたピッキングセンターにリニューアルのうえ、商品の一層の拡販に努めてまいります。

社会的責任としての障がい者雇用の推進につきましては、全国9ヶ所の選別工場を主たる事業所として、折箱タイプ容器組立工場、特例子会社、リサイクル選別分野での事業提携会社も含めた事業所・工場等において、グループ全体で9月末現在390名の障がい者が就労しております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,594億92百万円となり、前連結会計年度末に比べて37億53百万円増加いたしました。

これは主に受取手形及び売掛金の19億52百万円増加、商品及び製品12億96百万円並びに有形固定資産合計11億54百万円などの増加、現金及び預金7億49百万円などの減少によるものであります。

負債合計は、924億34百万円となり、前連結会計年度末に比べて11億36百万円増加いたしました。

これは主に支払手形及び買掛金5億84百万円増加、短期借入金、コマーシャル・ペーパー及び長期借入金合計13億83百万円などの増加、その他流動負債8億38百万円の減少によるものであります。

また、純資産合計は、670億57百万円となり、前連結会計年度末に比べて26億17百万円増加いたしました。

これは主に利益剰余金25億80百万円の増加などによるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より7億49百万円減少し、125億23百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、63億78百万円（前年同期は57億93百万円の資金獲得）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益65億91百万円、減価償却費46億10百万円及び仕入債務の増加5億85百万円などによる資金の増加、売上債権の増加19億49百万円、たな卸資産の増加14億88百万円及び法人税等の支払23億39百万円による資金の減少によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、59億51百万円（前年同期は45億16百万円の支出）となりました。

これは主にピッキングセンター及び工場の生産設備等固定資産の取得による支出58億72百万円などによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、11億74百万円（前年同期は23億43百万円の獲得）となりました。

これは主に借入金等の純増加額13億83百万円、配当金の支払11億98百万円及びリース債務の返済による支出13億52百万円などによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、原材料価格動向に加え景気は足踏み状態が続き、依然として先行き不透明な状況が予想されます。平成24年3月期の連結業績につきましては、平成23年8月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,273	12,523
受取手形及び売掛金	31,540	33,493
販売用不動産	12	12
商品及び製品	12,573	13,869
仕掛品	144	114
原材料及び貯蔵品	1,976	2,172
その他	4,538	4,732
貸倒引当金	△47	△53
流動資産合計	64,011	66,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,469	34,779
機械装置及び運搬具（純額）	8,240	8,294
土地	26,384	26,639
リース資産（純額）	9,455	8,613
その他（純額）	5,694	6,071
有形固定資産合計	83,244	84,398
無形固定資産		
のれん	2,192	1,944
その他	963	935
無形固定資産合計	3,155	2,880
投資その他の資産	5,327	5,349
固定資産合計	91,727	92,628
資産合計	155,738	159,492
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,905	19,489
短期借入金	19,250	16,887
コマーシャル・ペーパー	15,000	15,000
未払法人税等	2,465	2,895
賞与引当金	1,576	1,703
役員賞与引当金	90	49
その他	9,396	8,557
流動負債合計	66,685	64,582
固定負債		
長期借入金	14,135	17,882
退職給付引当金	1,837	1,928
役員退職慰労引当金	1,047	1,068
その他	7,591	6,973
固定負債合計	24,612	27,852
負債合計	91,298	92,434

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,150	13,150
資本剰余金	15,843	15,843
利益剰余金	40,092	42,672
自己株式	△4,937	△4,937
株主資本合計	64,148	66,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	256	296
その他の包括利益累計額合計	256	296
少数株主持分	35	32
純資産合計	64,440	67,057
負債純資産合計	155,738	159,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	66,151	76,882
売上原価	45,935	54,051
売上総利益	20,216	22,831
販売費及び一般管理費	13,595	16,244
営業利益	6,621	6,587
営業外収益		
受取利息	10	4
受取配当金	49	40
補助金収入	253	348
その他	225	225
営業外収益合計	538	618
営業外費用		
支払利息	247	211
コマーシャル・ペーパー利息	7	9
その他	75	67
営業外費用合計	330	288
経常利益	6,829	6,917
特別利益		
固定資産売却益	1	1
貸倒引当金戻入額	54	—
賞与引当金戻入額	32	—
受取保険金	21	—
その他	14	—
特別利益合計	125	1
特別損失		
固定資産除売却損	152	15
投資有価証券評価損	—	69
和解金	56	—
災害による損失	—	241
特別損失合計	208	327
税金等調整前四半期純利益	6,746	6,591
法人税、住民税及び事業税	2,337	2,837
法人税等調整額	404	△30
法人税等合計	2,741	2,806
少数株主損益調整前四半期純利益	4,004	3,784
少数株主利益	1	2
四半期純利益	4,003	3,781

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,004	3,784
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△257	40
その他の包括利益合計	△257	40
四半期包括利益	3,746	3,824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,745	3,822
少数株主に係る四半期包括利益	1	2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,746	6,591
減価償却費	4,276	4,610
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35	126
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△39	△41
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△63	0
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	51	20
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	80	90
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	69
固定資産除売却損益 (△は益)	151	14
受取利息及び受取配当金	△59	△45
支払利息	255	221
和解金	56	—
災害損失	—	241
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,024	△1,949
たな卸資産の増減額 (△は増加)	18	△1,488
未収入金の増減額 (△は増加)	△145	△74
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,001	585
その他	△1,864	227
小計	9,404	9,202
利息及び配当金の受取額	59	45
利息の支払額	△262	△213
法人税等の支払額	△3,374	△2,339
和解金の支払額	△56	—
災害損失の支払額	—	△317
その他	21	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,793	6,378
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,411	△5,872
無形固定資産の取得による支出	△138	△86
投資有価証券の取得による支出	—	△70
投資有価証券の売却による収入	22	0
投資有価証券の償還による収入	500	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△115	—
長期貸付けによる支出	△52	△14
長期貸付金の回収による収入	467	70
その他	211	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,516	△5,951
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200	△1,400
長期借入れによる収入	13,000	11,000
長期借入金の返済による支出	△7,509	△8,216
自己株式の取得による支出	△2	0
リース債務の返済による支出	△1,560	△1,352
配当金の支払額	△1,084	△1,198
少数株主への配当金の支払額	—	△6
その他	△300	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,343	△1,174
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,615	△749
現金及び現金同等物の期首残高	11,102	13,273
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,718	12,523

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。